

興讓館生に期待する



校長 曾根 伸之

本校の校名は、建学の精神である「興讓」すなわち、「謙讓、孫讓の心」を表し、古来、何万という人々によって、それぞれの分野で、多様な形に具現化されてまいりました。また、本校とともに歩んできたこの米沢、置賜に根差す固有の精神文化を象徴するものの一つとして受け継がれてきました。

藩校「興讓館学則」には、「温恭自ら虚うし 受くる所これを極む」とありますが、今日の本校生のあるべき姿もまた、常に自己を顧み、自分の知識や能力を客観視しながら、また、同時に、自己の限らない可能性を大きく掲げ、絶え間ない「挑戦」を続けることにあるといえます。

さて、この春、本校のSSH事業は、第IV期採択をいただき、「未来に果敢に挑戦できる科学技術人材の育成」を米沢興讓館STEM教育の実践・発展とその成果の普及」の研究テーマを掲げ、さらに前進を続けていきます。



Yonezawa Kojokan High School

す。また、ユネスコスクール・キャンディエーターとして、国際教育に係る取り組みの一層の充実を図り、高校生として国際性を身に付けるための新たな学びの場を創造していきたいと考えております。

本校では、すべての教育活動の根幹に、生徒一人ひとりが、「自己効力」(自分にもできるかもしれないという、自己の知識や技能への自信や信念)を据え、謙虚に、そして、果敢に、社会のために自らが果たすことのできる役割を見出していく姿を目指しています。生徒諸君が、やがて、それぞれに、社会を牽引する次の時代のリーダーとして成長すること、に、大きな期待を寄せるものです。

本校での学びと経験をとおし、それぞれの夢の実現に向け、思い切り挑戦を続けていきましょう。困難や挫折を恐れず、謙虚に自己を顧み鍛えながら、仲間とともに悩み、課題を克服していく喜びを分かち合える日々の時間をこそ大切にしていきたいと思います。

「若さ」は「無限の可能性」と同義です。一人ひとりが、興讓館に学が者としての自負を以て、それぞれを唯一無二の存在とし、充実した高校生活を自らの手で描きだしていくことを願っています。そして、興讓館一丸となって、高校生活を、大きく、実り多いものにしていきましょう。



令和4年7月28日発行

山形県立
米沢興讓館高等学校

〒992-1443

山形県米沢市大字笹野1101

TEL 0238-38-4741

FAX 0238-38-2531

<http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/>

学びのある三年間に

一年一組 今

(小国中出身) 龍汰朗

私はこの春、興讓館に入学して学習に取り組んでいます。授業のペースは早くなり、提出課題の量も増えて、まだ新しい生活に適應しきれませんが、中学の頃よりも充実した生活を送ることができています。これから始まる探究活動がとても楽しみです。自分がやりたいことを思う存分研究する興讓館ならではの活動なので、主体性を持って取り組みたいです。

クラスの仲間達は、どんな問題でも共に考えてくれる良い仲間です。日頃の学習などさまざまな場面で理解を深められるように、一人で考えるのではなく、誰かと一緒に考える機会を増やしたいです。自分の今後の人生に直結する大切な時間で、自ら学ぶ姿勢と仲間達とよく話すことを大切にしたいです。



興讓館生の活躍

思考力を育てた探究活動

三年一組 秋葉 有咲
(米沢一中出身)



五月、探究活動成果発表会が行われ、私たちは最優秀賞を頂くことができました。

私たちは、米沢市にゆかりのある「ウコギ」の抗菌作用について研究を行いました。研究中、実験に失敗したり、思うように計画が進まなかったりすることがありました。しかしそこで諦めるのではなく、何故上手くいかなかったのか、原因を探究して実験を繰り返すことで自分たちの思考力が高まったと感じます。そうして時間をかけた分、今回のような賞をいただけたときの嬉しさは大きなものでした。

八月の全国大会では、協力してくださる方々に感謝し、自分たちの研究の魅力を精一杯伝えてきます。



SSRの先へ

三年五組 金子 望愛
(米沢一中出身)



五月二十三日にSSRの集大成である探究活動成果発表会が行われました。私はプロジェクト型領域で、「米沢を地元のARTで活性化しよう」というテーマで発表しました。一年半の活動の中で課題を見つけ、解決策を立て、そして実際にARTイベントを実現できたことは力となり、また自信へと繋がりました。時には壁にぶつかり苦戦しましたが、最後まで成し遂げられて大変良かったです。

この活動を通して、沢山の方との「つながり」を得ました。その結果、七月に二回、公の場で発表させていただけることになりました。この機会を活かして、米沢の魅力を日本中、そして世界中に向けて発信します。



出逢い、学び、活かす 科学者の卵養成講座と私

二年一組 安 齋 穂乃花
(米沢四中出身)

私は一年次に科学者の卵養成講座「研究基礎コース」を受講し、選抜を経て「研究発展コース」へと進んだ。現在は、「両コースをともに修了して」「研究重点コース」へと進み、「動物の捕食行動と遺伝子」についての研究を継続している。

この講座を通じて、様々な「出逢い」と充実した「学び」を経験することができた。特に、全国から集まる受講生の皆さんや、先生方、事務局の方との「出逢い」は、私にとってかけがえのない宝物だ。今なお連絡を取り続け、切磋琢磨しあえる友人もできた。

努力が実を結び、基礎コースでは最優秀賞を、発展コースの研究発表会では研究発表賞第二位をいただいた。本当に嬉しい。

今後重点コースでの研究は続く。「卵」から「ひよこ」に孵化できるように、学びを活かし、感謝を忘れずに邁進していきたい。



様々な視点から物事を見つめる

一年三組 白田 優那
(米沢一中出身)



今回、デザイン思考ワークショップに参加したことで、「探究するとは何か」が知れたことが私にとってとても

よい経験になりました。

普段の生活の中ではできないような考え方、探究の仕方、周りの交流を深めながら自分の発想を広げていくことができました。また、ブレインストーミングでは、「ストローでできること」という題で私のアイデアから二、三人の友達と一緒に考えを深め、広げてくれたおかげでより良い案を導き出すことができました。

今回の活動を、私たち一年生が来年期り組むSSRの活動にも活かし、さまざまな意見や考えを取り入れ、物事の事象や日常から生まれる疑問などを探究していきたいと思えます。



※SSR=スーパー・サイエンス・リサーチの略。米沢興讓館高等学校で行われている「課題研究」の名称。

部活動の活躍

憧れの舞台

フェンシング部

三年二組 相田寿姫

(采沢六中出身)

今年度は香川県でインターハイが開催されます。フェンシング部に入学した頃から目標とし続け、憧れであったインターハイの出場権を得ることができ、本当に嬉しく思います。

私たちはインターハイをはじめ、様々な上位大会に向けて互いに高め合い切磋琢磨して練習してきました。また、顧問の先生方や興譲館フェンシング部OB・OGの方々などのご指導のおかげで大きく成長できたと思います。

コロナ禍で多くの制限があった中で大会を開催していただいたこと、一番のライバルであり最高の仲間と出会いフェンシングができたこと、いつも応援してくれる人がいたこと、この全てに感謝し、全力でプレーしてきます!!



部活動の記録

令和4年度 置賜地区高等学校総合体育大会

☆団体

《第1位(優勝)》卓球男子、バドミントン男子、登山女子、剣道女子、弓道女子、バスケットボール女子、卓球女子、バドミントン女子、フェンシング女子

《第2位》

登山男子、剣道男子、弓道男子、ホッケー男子、ホッケー女子

☆個人

《第1位(優勝)》

剣道/女子: 佐藤遼佳、弓道/男子: 梅津昂征、ソフトテニス/男子: 小下健太・渡部裕大、卓球/男子シングルス: 佐原羽春、男子ダブルス: 佐原羽春・丸子健人、女子ダブルス: 田畑 湊・村山佳南、バドミントン/男子シングルス: 西部陽翔、男子ダブルス: 齋藤諒汰・佐藤祐希、フェンシング/女子エペ: 高橋里奈、水泳/男子200m平泳ぎ: 上田一樹、女子200m個人メドレー: 山川結愛

《第2位》

陸上競技/女子1500m: 船山明莉、女子3000m: 船山明莉、女子走高跳: 澤 悦菜、女子走幅跳: 千葉美優、女子三段跳: 中川綾菜、剣道/男子: 竹下恭平、柔道/男子81kg級: 楊 剛、バドミントン/女子シングルス: 梅津里妃、女子ダブルス: 梅津里妃・早川美沙希、フェンシング/男子エペ: スワン テ ミン マウン、女子エペ: 寒河江理名、水泳/男子100m平泳ぎ: 上田一樹、男子100mバタフライ: 田村悠輝、女子100m平泳ぎ: 山川結愛

令和4年度 山形県高等学校総合体育大会

☆団体

《第1位(優勝)》

フェンシング/女子(東北高校選手権・全国高校総体出場) ホッケー/男子(東北高校選手権出場)、女子(東北高校選手権出場) 弓道/男子(東北高校選手権出場)、女子(東北高校選手権出場)、フェンシング/男子

《第2位》

フェンシング/女子エペ: 相田寿姫(東北高校選手権・全国高校総体出場) フェンシング/男子エペ: 櫻井快仁(東北高校選手権・全国高校総体出場)、女子エペ: 高橋里奈(東北高校選手権・全国高校総体出場)

《第3位》

フェンシング/女子フルーレ: 相田寿姫(東北高校選手権出場)、女子エペ: 寒河江理名(東北高校選手権出場)

《他東北高校選手権出場》

陸上競技/女子七種競技: 渡部向日葵、弓道/男子個人: 梅津大河、女子個人: 鈴木佐緒莉、水泳/男子100m平泳ぎ: 上田一樹、男子200m平泳ぎ: 上田一樹

文化部

美術/第72回全国高校スキー大会(令和4年度山形インハイ)シンボルマーク最優秀: 佐藤楓華 第46回全国高等学校総合文化祭(とうきょう総文2022)美術・工芸部門出場: 中川 梓 新聞・文芸/46回全国高等学校総合文化祭(とうきょう総文2022)文芸部門出場: 石井倅之介 個人/第46回全国高等学校総合文化祭(とうきょう総文2022)小倉百人一首かるた部門出場: 井上阿弥 CSSクラブ/ロールス・ロイス サイエンスキャンプ 全国予選2位通過→東京本戦出場

令和4年度 体育祭

まずは、体育祭を成功という形で終えることができ大変嬉しく思います。
 体育文化委員一同、昼休みや放課後の時間を使い準備を頑張りました。当日は天候が心配される中でしたが、無事に開催できて本当に良かったです。
 体育祭を成功させることができたのは、先生方をはじめ、共に運営に携わってくださったサッカー部、バレー部の皆さんや自治会執行部の皆さん、そして、素晴らしい選手宣誓をしてくださった興譲祭実行委員長のお陰だと思えます。そして、我々の運営にお付き合いました全校生徒の皆さんに心から感謝しています。

感謝

三年二組 菊地 陽
 (高島中出身)



一致団結

三年四組 村山 佳南
 (采沢一中出身)

今回の体育祭では総合優勝を飾ることができ光栄に思います。私のクラスは男子七名、女子三十四名と男女比に非常に偏りがあり、一見不利のように思われますが、それをハンデイダとは言わず、一人一人が全力で役割を全うしたことがこのような結果を導いたのだと思います。

私はサッカーのチームでの出場でしたが、苦しい時には仲間と声を掛け合い、決勝のPK戦では一年生を相手に運さえも見方につけ、華麗なキック、鉄壁の守りで全戦全勝を勝ち取りました。今回の体育祭が終わった頃には、みんなとの絆を感じることができ、さらに団結力が深まったように思います。この経験を今後の興譲祭、また進路実現に繋げていきたいです。

❖ 二学期の行事予定 ❖

- 8月22日 始業式・課題テスト
- 8月26日 興譲祭
- 9月10日 地区高校新人大会(前期) (～27日)
- 9月19日 創立記念日・式典 (～11日)
- 9月26日 二学期中間評価
- 9月29日 自治会役員選挙 (～28日)
- 10月4日 避難訓練②
- 10月7日 県高総文祭
- 10月8日 県高校新人大会(前期) (～9日)
- 10月12日 高鍋高校交流(全訪問) (～9日)
- 10月19日 探究活動中間発表会 (～14日)
- 10月19日 探究活動中間発表会
- 11月5日 県高校新人大会(後期) (～6日)
- 11月21日 期末・学年末評価 (～25日)
- 12月1日 一年FS東京探究ツアー (～3日)
- 12月4日 二年普通科キャリア研修 (～7日)
- 12月23日 終業式
- 二年探究科研修

一学期も熱く燃えよう